

土浦市中心市街地活性化基本計画（案）パブリック・コメントの実施結果について  
提出された意見とその意見に対する考え方等

1 実施結果

募集期間	平成 30 年 9 月 5 日（水）～9 月 21 日（金）
意見提出者数	6 人
意見数	16 件
市ホームページ閲覧数	117 件

2 提出された意見とその意見に対する考え方等

No.	意見の要旨及び内容	意見に対する考え方
1	<p>駅周辺施設の手洗い所が狭く、自転車利用者などが不自由しているように思う。亀城公園やモール505のバリアフリートイレも、位置やスタイル等の改善が必要だと思う。</p>	<p>本市の施設につきましては、都市の発展と共に整備を行ってきており、時間の経過と共に古くなってきている箇所も見られます。</p> <p>その様な中で、昨年度には、土浦駅西口公衆トイレを再開発事業に併せリニューアル新設を行うなど、整備時期を捉え改善している状況です。</p> <p>既存施設については、スペースの関係等により大幅な改善は難しい部分がありますが、可能な範囲で利用しやすくなるような工夫をしていきたいと考えます。</p>
2	<p>駐車場や他施設への誘導看板等が無いため、知らない人は訪れにくいと思う。</p>	<p>「公共サイン整備事業」において、ガイドラインに基づいたわかりやすいサイン設置を進め、来街者の回遊性向上を目指します。</p>
3	<p>中型・大型バイクの駐輪場が欲しい。</p>	<p>市役所本庁舎駐車場やアルカス土浦駐車場などに中型バイク以上の利用可能な駐輪場が設置されています。分かりやすい案内方法等について今後検討していきます。</p>
4	<p>中心市街地の空き家マップを作成・公表してはどうか。持ち主の了解を得られた建物に限定し、賃貸希望や売買希望者とのマッチングに役立てるとともに、建物リノベーションの促進につながれると考える。</p>	<p>「土浦繁盛記事業」において、空き店舗に関する情報をホームページ上に公開しております。また、新たに位置付ける「空き店舗・低未利用地活用推進事業」において、空き店舗や低未利用地の所有者に対する働きかけを行い、利活用の促進を図りたいと考えていま</p>

		す。当該事業を進める中で、このような取組・制度設計の可能性についても研究を進めていきます。
5	「かわまちづくり事業」や「サイクリング事業」はとても興味深いですが、レジャー以外で土浦を訪れる場合は車の利用が一般的だと思うので、駐車場に関する事業を盛り込んではいかがでしょうか。	今回の計画では、歩行者と自転車利用者の回遊性向上をメインテーマの一つとしていることから、駐車場に関する事業の位置付けはありませんが、車利用者の利便性についても配慮するとともに、既存駐車場の利用促進を図っていきます。
6	空き家を取り壊すばかりでなく、気軽に活用できるような対策はできないか。また、空き店舗等の貸し出しに消極的だという話も聞いたことがある。未来を創る人たちが集まる仕組みを作ることによってそれらの活用の促進にもつながるのではないか。	「まちなか定住促進事業」により、まちなかへの居住を促すことで、間接的に空き家の発生を抑制したいと考えます。 また、新たに位置付ける「空き店舗・低未利用地活用推進事業」において、空き店舗や低未利用地の所有者に対する働きかけを行い、利活用の促進を図りたいと考えています。
7	空き家やモール505などをサイクリストの宿泊施設に使用することはできないだろうか。	空き家等を宿泊施設として活用するには、管理運営上の課題があることから今後研究を進めていきます。
8	土浦駅前から歴史的な町並みを再現してはどうか。	「(仮称) 土浦歴史探訪 AR 活用事業」において、AR アプリ等を用い、昔の町並みを眺めながらまちなかを回遊する仕組みづくりを検討しています。
9	市民であっても知らないイベントがたくさんある。キララちゃんバスも来訪者にも使ってもらえるよう、ポスター等での分かりやすい案内があるといいと思う。	(下線部を追記しました。) No. 40 観光情報発信事業 観光マップ「遊覧都市つちうら」の内容の見直しを行い、新たな観光ガイドブックを作成する。 <u>イベント情報やキララちゃんバスの情報など、初めて訪れた人にもわかりやすいよう、内容を充実させる。</u> また、作成にあたって、外国人観光客の増加を見据え、外国語版を作成することで、インバウンド対応を実施する。 本事業は、観光地としての魅力を発信し、観光客に楽しんでもらうことで、更なる来街者の増加につなげ、来訪者を増やすことを目標とする中心市街地の活性化に資する事業である。
10	高校生がよい意味で楽しめる場所・滞在できる場所が増えるといいと思う。市	市庁舎の共有ラウンジや、新図書館の学習スペースなど、学生が滞在できる場所の活用

	に愛着を持つきっかけにもなると思う。	を促進するとともに、新たな事業として「学祭 TSUCHIURA 開催事業」を位置付けています。高校生など学生が中心となるイベントを開催することで、まちへの愛着を持つきっかけづくりを進めていきます。
1 1	<p>一期計画で整備した拠点を中心にソフト事業を強化し、面的な展開によるにぎわい創出が重要だと思うが、「趣・おもてなしゾーン」のハードを繋ぐソフト事業が弱いように感じる。当該エリアでは、地域の歴史文化遺産を発掘・活用し、後世に伝える仕組みや持続する界限づくり・まち商いの創出を目指し、民間主導で「つちうら亀の市」を開催している。例えば「学祭 TSUCHIURA 開催事業」などの連携も効果的であると思われ、「つちうら亀の市開催事業」を計画に位置付けるのはどうか。</p>	<p>(下線部を追記しました。)</p> <p>No. 50 市民によるまちなか活性化事業</p> <p><u>「つちうら亀の市」、「つちうらが好き！ライブ」、「サウンド蔵つちうらムーンライトコンサート」「霞ヶ浦トライアスロンフェスタ」「つちうらハロウィン (ハロキラ)」</u>など、中心市街地の空間を利用して、市民団体等が主体となり本市の郷土を紹介するイベントや音楽イベント等を開催する本事業は、まちなかのにぎわい創出を目的とする中心市街地の活性化に資する事業である。</p>
1 2	<p>予算減少によりイベントの規模や質を落とすのではなく、出店料を徴収するなどにより盛り上がるイベントの継続することも必要だと思う。</p> <p>また、多くの団体が別々にまちおこしイベントを行っているが、まとまって協力しながらの開催は難しいのだろうか。</p>	<p>市内で行われるイベントの多くは、各種団体の代表等による実行委員会を設置し、協力して運営を行っています。また、イベントによっては、出店料を徴収している場合もあります。今後とも各種団体と協力し、多くの人々が訪れる賑わい溢れるイベントの開催に努めてまいります。</p>
1 3	<p>バスを利用したいが、本数の少なさや、最終便の時間帯が早いことから使いにくい。</p>	<p>土浦市地域公共交通網形成計画に基づき、利用しやすい公共交通環境の実現を図ります。</p>
1 4	<p>霞ヶ浦の水資源の有活用として、駅からの徒歩圏で、霞ヶ浦の一部を遊泳施設として活用することはできないか。</p>	<p>「泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル」、「誰でも楽しもう霞ヶ浦」等のイベントを通して、湖に触れ合う機会を創出するとともに、水質浄化に向けた意識醸成を図っていきます。</p>
1 5	<p>自転車を移動手段とした場合、市内は高低差が激しく、サイクリングロード以外では乗りにくい。</p>	<p>平成 29 年に施行された自転車活用推進法に基づき、市の実情に応じた施策を検討してまいります。</p>
1 6	<p>消防本部周辺は道路整備されている一方で寂しい。</p>	<p>新消防庁舎の位置は、旧消防庁舎に近接し、市街地に隣接した交通アクセスの良い場所という条件により決定されましたが、その周辺</p>

		は市街化調整区域であり、都市計画上の用途の制限があります。
--	--	-------------------------------